

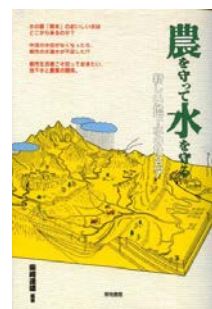
## 26.農を守って水を守る 新しい地下水の社会学

柴崎達雄編著

築地書館（2004）

本文 p.145 巻末資料 p.38

定価 1800 円+税



### 目次

水の都には、地下を流れる大きな川があった！

はじめに 地下水の社会学とは？

#### 第1章. 地下水の社会学入門

地下水とはなにか？

地下水の帳簿をつくろう—水収支の話

地下水はどこまで利用できるのか？

#### 第2章. 「水の都」の地下水はこうしてできた

「白川地下水バイパス」物語

白川中流域の水田開発史

「白川地下水バイパス」と水争い

近代的な上水道の開設

#### 第3章. 地下水バイパスとはなにか？

人工的な地下水流動系

水田の多面的機能

#### 第4章. それぞれの井戸から広域地下水へ

新しい地下水管理への試み

減反政策による地下水かん養量の減少とその対策

#### 第5章. 農民・市民ネットワーク

コメあまりが生んだ地下水の危機

地下水について知ってもらおう

#### 第6章. 白川地下水バイパスの保全

地下水バイパスが荒廃したのはなぜか？

地下水税か上水道料金の値上げか

#### 第7章. これからの地下水

環境創造について考える

残された課題と問題点

#### 第8章. 水循環型営農へ

まずは、自治体、農業者団体が動いた

企業、市民の挑戦

あとがき—熊本との出会い

## 地下水ブックガイド

主な参考文献

巻末資料「熊本市地下水量保全プラン」

---

### 紹介コメント

熊本市が位置する阿蘇山外輪山から有明海にいたる西麓台地一帯では、人口約 100 万人の生活用水すべてが地下水でまかなわれている。本著では、この豊富な地下水の背景にある白川地下水バイパスについて歴史的観点を交えてわかりやすく解説している。また、著者の柴崎氏は地下水問題の解決のためには自然科学と社会学を融合が重要と説く。本著はその実践本としても読むことができ、地下水管理に関する平易かつ適切な解説がなされている。